

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			東京書籍	1～3年	国語 C-721 国語 C-722
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を育成することを目指す。 ・日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 ・日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 ・言葉のもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしているその能力の向上を図る態度を養う。 			
内容の構成・排列、分量等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 ・「聞くこと・話すこと」「書くこと」「読むこと」の学習が相互に関連しながら、3年間で系統的に積み上がるよう工夫がなされている。 ・日常生活から社会生活、職業生活へと、生徒の生活の広がりを意識した構成・排列となるよう工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 ・国語☆☆☆☆（第1段階）～総数110ページ ・国語☆☆☆☆☆（第2段階）～総数120ページ 			
使用上の配慮等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語指導だけでなく、各教科等を合わせた指導（生活単元学習・作業学習等）や自立活動と関連を図ることにより、日常化、生活化することができ、生徒の学習意欲を高めるよう工夫がなされている。 ○ 視覚情報を中心に構成されているため、内容が分かりやすく、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされている。 ○ ☆の多さに比例して情報量が増加するとともに、複雑化、抽象化するため、生徒の実態に応じて適宜教科書を選択することができるよう使用上の便宜が図られている。 			
指導上の配慮等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、国語☆☆☆☆で、「日本を旅して」において「北海道」を取り扱っている。 ○ ICTの活用については、挿絵や写真を多く取り入れ、プロジェクター等で教科書を投影しやすいよう工夫がなされている。 ○ 小中連携については、使用する学年の表記がなく、生徒の発達段階に合わせて教科書を活用できるよう配慮がなされている。 ○ 題材が見開き（偶数ページ）であり、生徒が内容を捉えやすいよう工夫がなされている。 			
本市生徒の学習の状況等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 挿絵や写真等の視覚情報を随所に入れ、生徒の学習意欲を引き出し、内容を把握しやすいよう配慮がなされている。 ○ 具体物を使った操作や体験的な活動などが位置付けられており、様々な学習活動を展開できるよう工夫がなされている。 ○ 読み書きなど特定の領域で配慮を要する生徒に対して、漢字に振り仮名を付けたり、書き込むスペースを設けたりする工夫がなされている。 			
その他					

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		教育出版	1～3年	数学 C-721 数学 C-722	数学 ☆☆☆☆ 数学 ☆☆☆☆☆
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。 ・日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力や数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
内容の構成・排列、分量等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については次のような工夫がなされている。 <ul style="list-style-type: none"> ・数学☆☆☆☆（第1段階） 具体物・半具体物を使って、数の概念形成を中心に学習し、数と計算・図形・データの活用・時間の学習が系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。 ・数学☆☆☆☆☆（第2段階） より数学的な内容に発展しており、日常生活で使われる数や数量、図形など系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・数学☆☆☆☆ ～総数 147 ページ ・数学☆☆☆☆☆ ～総数 121 ページ
使用上の配慮等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学指導だけでなく、各教科等を合わせた指導（生活単元学習，作業学習等）や自立活動と関連を図ることにより，日常化，生活化することができ，生徒の学習意欲を高めるよう工夫がなされている。 ○ イラストや図，写真など視覚情報を多く掲載し，生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされている。 ○ 数学☆☆☆☆では，実物の写真を使って，やり方を説明できるページなどより具体的にやり方や使い方を指導できるよう工夫がなされている。 ○ 数学☆☆☆☆から数学☆☆☆☆☆と段階が進むにつれ，数字などを書き込めるようになっており，学習活動が日常生活や社会生活に広がるよう配慮がなされている。
指導上の配慮等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については，図書館や消防署，公園など生徒の社会生活に関連する身近な素材を取り扱っている。 ○ 小中連携については，使用する学年の表記がなく，生徒の発達段階に合わせて教科書を活用できるよう配慮がなされている。 ○ 身の回りにある，数や形に着目できるよう，挿絵や写真から読み取ったり，数えたりすることができるよう配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等					<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学においても，言葉の概念と数の概念を合わせて形成することができるよう合科的な学習への配慮がなされている。 ○ どの段階の教科書でも，見るだけでなく，具体的な操作をしたり，実際に活動したり，さらには触ってみたいするなど，様々な学習活動が展開できるよう工夫がなされている。 ○ 読み書きなど特定の領域で配慮を要する生徒に対して，漢字に振り仮名を付けたり，書き込むスペースを設けたりするなどの工夫がなされている。
その他					

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			東京書籍	1～3年	音楽 C-721 音楽 C-722
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等		<p>○ 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに興味や関心をもって関わる資質・能力を育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 ・音楽表現を考へることや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら、音や音楽を味わって聴くことができるようにする。 ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。 			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節や学校行事と関連をもたせた曲を多く掲載し、歌や音楽とそれらによって喚起される自己のイメージや感情との関わり、人々の生活や文化などの音楽の背景との関わりを考へ、表現したり鑑賞したりするよう構成を工夫している。 ・内容については、小学部音楽科（3段階）とのつながりを踏まえ、生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に合わせて学習できるよう排列となっている。 ・音楽☆☆☆☆（第1段階） P40「音楽を作ろう」では、基本的な音符や休符のきまりを学習した後に、個々が感じたことを表現する活動を扱うといった、知識・理解と技能を結び付けながら学習する工夫をしている。全体的に個別の表現活動が多く取り入れられている。 ・音楽☆☆☆☆（第2段階） P13「手びょうしの花束」や P40「おはやしを作ろう」では、パートごとの楽譜が示され、合奏する活動が取り入れられている。第1段階から第2段階へと発展した指導が行えるような排列となっている。 ・音楽☆☆☆☆（第2段階）では、パートごとに背景の色を変えたり、輪唱と合唱の違いが分かるよう、楽譜と絵を組み合わせたたりするなど、複数の情報を合わせる工夫がなされている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載されている曲数は、それぞれ 50～60 曲であり、通常の学級用の教科書と比較すると多い。 ・情報量を整理するため、歌唱表現で扱う曲は、歌詞と挿絵や写真のみを掲載し、楽譜は巻末に掲載している。 ・音楽☆☆☆☆ ～総数 159 ページ ・音楽☆☆☆☆ ～総数 162 ページ 			
使用上の配慮等		<p>○ 日本の郷土音楽や世界の多様な音楽を取り上げ、幅広く体験することや各教科等を合わせた指導(生活単元学習・作業学習等)や自立活動が展開できるよう配慮がなされている。</p>			
指導上の配慮等		<p>○ 小中連携については、使用する学年の表記がなく、生徒の発達段階に合わせて適切なものを使用することができるよう配慮がなされている。</p>			
本市生徒の学習の状況等		<p>○ 曲のイメージがつかめるようなイラストや写真が多く示されている。</p> <p>○ 読み書きなど特定の領域で配慮を必要とする生徒に対して、漢字に振り仮名を付けたたり、書き込むスペースを設けたりするなどの工夫がなされている。</p>			
その他					